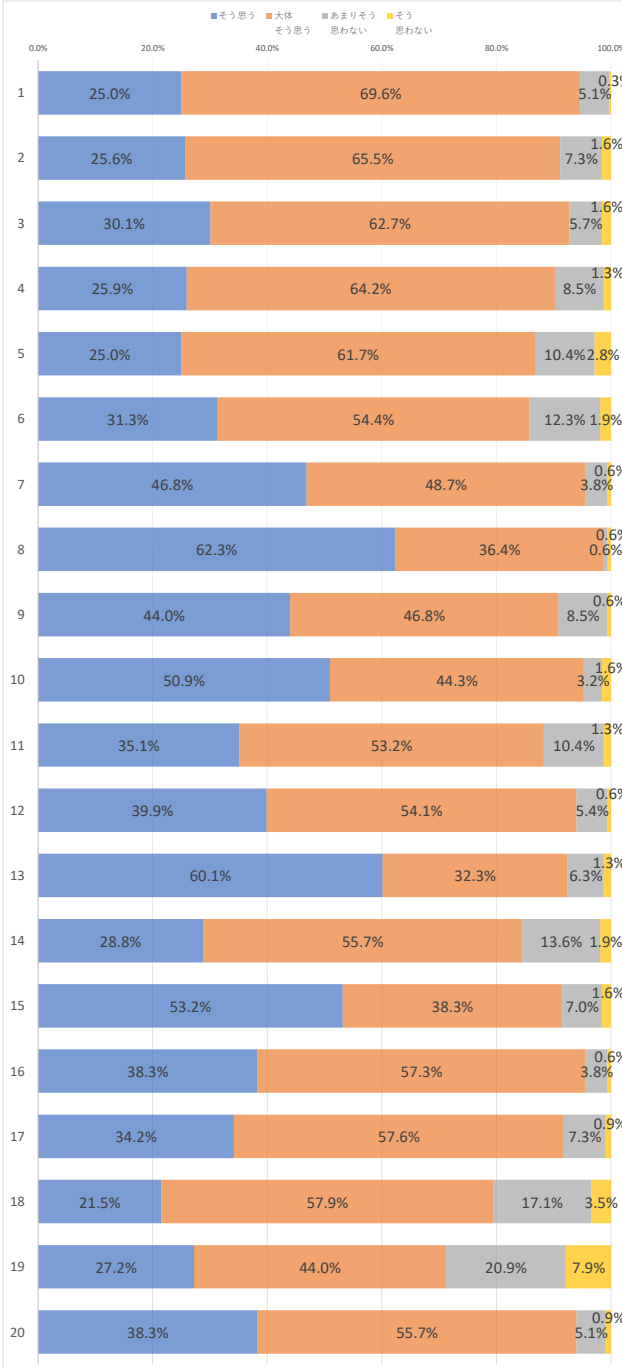


令和3年度「よりよい学校づくりアンケート」学校評価アンケート（保護者）

		回答数 316			
		そう思う	大体 そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	学校は教育目標や方針、活動をわかりやすく伝えている。	25.0%	69.6%	5.1%	0.3%
2	学校は様々な行事や体験を通じて、児童の「生きる力」を伸ばそうと努力している	25.6%	65.5%	7.3%	1.6%
3	学校は、施設・設備の安全管理や校舎内外の美化等、環境の整備に努めている。	30.1%	62.7%	5.7%	1.6%
4	学校は、保護者や地域の期待に応える教育活動を行おうと努めている。	25.9%	64.2%	8.5%	1.3%
5	学校は、いじめのない学校づくりに努めている。	25.0%	61.7%	10.4%	2.8%
6	学校は、保護者や地域の方々に学習や行事を参観する場を設けている。	31.3%	54.4%	12.3%	1.9%
7	学校は、学校だより等で家庭や地域へ、情報を積極的に提供している。	46.8%	48.7%	3.8%	0.6%
8	学校は、栄養のバランスや食の安全に配慮して、給食を提供するなど、健康の保持増進を図っている。	62.3%	36.4%	0.6%	0.6%
9	学校は、読書活動を充実しようと努めている。	44.0%	46.8%	8.5%	0.6%
10	教職員は、来校時や電話での対応で、親切で丁寧な対応をしている。	50.9%	44.3%	3.2%	1.6%
11	教職員は、子供をよく理解し、相談・支援・指導を適切に行っている。	35.1%	53.2%	10.4%	1.3%
12	教員は、熱心に授業に取り組み、適切に評価している。	39.9%	54.1%	5.4%	0.6%
13	子供は、学校に楽しく通っている。	60.1%	32.3%	6.3%	1.3%
14	子供は、学習内容をよく理解している。	28.8%	55.7%	13.6%	1.9%
15	子供は、学校行事や学習活動に積極的に参加している。	53.2%	38.3%	7.0%	1.6%
16	子供は、思いやりの心をもって人に接している。	38.3%	57.3%	3.8%	0.6%
17	子供は、公共の場でのマナーが守れている。	34.2%	57.6%	7.3%	0.9%
18	子供は、挨拶・時間を守ること・正しい言葉遣いができている。	21.5%	57.9%	17.1%	3.5%
19	子供は、自分から宿題や家庭学習を行っている。	27.2%	44.0%	20.9%	7.9%
20	学校は、感染症防止対策に努めている。	38.3%	55.7%	5.1%	0.9%



＜アンケートの結果から＞

- 1の学校の方針等については、保護者には、ご理解いただいていることが分かる。
- 2の学校の教育活動については、その意味や目的に賛同いただいていることが分かる。
- 3では、環境整備についての努力は認めていただいている。
- 4の保護者や地域の期待には、おおむね応えられているようだが、消極的な意見が9.8%と十分にこたえられていないようである。昨年度は7.3%。
- 5のいじめ対策については、消極的な意見が13.2%と対策が十分にとれていない面がある。昨年度は12.1%
- 6の参観の場については、感染状況による変更や中止があったが、おおむね理解をいただいている。
- 7の学校だよりや学年だより、連絡メールやホームページなどを活用することで、保護者に情報が伝わっていることが分かる。
- 8の給食や食育に関しては、多くの保護者の理解をいただいている。
- 9の読書活動については、おはなしたまごのボランティアや移動図書館の導入、図書室貸し出しのバーコード化などの取り組みについて好意的な評価をいただいている。
- 10の保護者対応についてはおおむね良好である。
- 11の生徒指導、教育相談については、11.7%の保護者が消極的な意見を持っている。
- 12の教職員の教育活動についても信頼は厚いことが分かる。
- 13の約8%の児童が学校を楽しくないと感じていることが分かる。昨年度は、2.9%。
- 14の学習内容の理解については、15.5%の保護者が不十分だと感じている。昨年度は16.0%。
- 15の学校行事、学習活動への参加は、消極的な意見が8.6%と昨年度の4.8%より増加している。
- 16の思いやりのある児童については、大半の保護者がそう感じている。
- 17の公共マナーについても16と同様
- 18の言葉遣い等に関しては、多くの保護者ができていると感じているが、20.6%の保護者がそうでないと感じている。昨年度の消極的な意見は、24.9%。
- 19の家庭学習については、28.8%の保護者が十分でないと感じている。昨年度は、27.5%。
- 20の感染症対策については、多くの保護者にご理解をいただいている。

＜成果と課題＞

アンケートの結果から、保護者に高く評価いただいている点の1つは、学校からの情報提供についてである。学校だより、学年だより、連絡メールやホームページなど、できる限り迅速に対応することを心掛けてきた。緊急時の対応が求められる今年度であるが、迅速で適切な情報提供を継続していくとともに、インターネットを使った児童の出欠確認など、保護者との双方の情報取り扱いも順次導入していく。次に食に関する取り組みについてである。家庭環境や児童の好き嫌いなどの課題はあるが、児童の意見を給食に取り入れるなど工夫しながら、食への関心を高めている成果と考える。最後に、教職員の取り組みについてである。校内研究や研究授業、研修を通して日々指導力の向上の努力を行っている。タブレットの導入など機器の取り扱いや操作など学習以外の課題はあったが、学習の一部として、道具として、取り扱おうとする努力を認めていただけていると考える。

本校の課題としては、次のことがあげられる。いじめのない学校づくりに対して、不十分であるというご意見から、生徒指導の充実や教育相談の取り組みを強化し、一人一人の児童の悩みを受け止める環境づくりを進めていく必要がある。心の相談室やスクールカウンセラーの活用について改善し、児童への呼びかけを継続的にを行い、相談しやすい状況を作っていく。学習内容の理解については、県の学習サポーターや市のスクールサポーター、少人数指導を導入し、個別指導の充実を図っているが、まだ、不十分な点がある。これまでの学習方法も大切にしながら、タブレットを使った学習方法についても研究をすすめ、一人一人の課題に対応できるような学習環境の構築に努めたい。最後に、挨拶の励行や言葉遣いに関しては、日々の生活指導や職員と児童の信頼関係によるところが大きいと考える。児童への指導内容や声のかけ方や関わり方を、職員で共通理解し、教員一人一人の個性を生かしながらも、学年、学級で偏りが出ない指導体制を作っていく。